

熊本県の地産地消の推進に関する施策の報告

2 令和4年度(2022年度)の実績

(1) 県民の県内農林水産物等への理解の深化及び郷土愛の育成

郷土料理の伝承、「食育」及び「木育」に係る活動、各種広報を活用した県内農林水産物等に係る情報提供等を行い、県内農林水産物等に対する理解を深め、郷土愛を育む。

番号	事業又は取組名 事業又は取組の概要	令和4年度最終予算額(千円) 担当部・課
1	<p>くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「SNS等を活用した情報発信」</p> <p>県内各地の生産者や販売店、県産品をおいしく提供する飲食店を中心に、県産品の魅力や旬の情報をお届けする熊本県地産地消の公式SNS「KUMA RICH」を開設した。</p> <p>【実績】 LINE配信:14回 Instagram、Facebook投稿:55回</p>	<p>15,022の一部</p> <p>農林水産部 流通アグリビジネス課</p>
	<p>くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「くまもと地産地消PR強化事業」</p> <p>令和4年10月に新設した、くまもと地産地消の公式LINEのフォロワー獲得を主な目的とし、公式LINEに友だち登録してアンケートに御協力いただいた方の中から、抽選で各回30名に県産品ギフトBOX(加工品の詰合せ)をプレゼントするキャンペーンを実施。</p> <p>また、県内の農産物生産者、県産食材を使う飲食店約30者による各種販売やワークショップなどを行うイベント「KUMAMOTO FARMERS MARCHE」を開催し、県産品のPRを行った。</p> <p>【実績】 (1)公式LINEに友だち登録 ・第1回:令和4年10月21日～11月30日(応募数:443名) ・第2回:令和5年2月1日～2月28日(応募数:558名) (2)KUMAMOTO FARMERS MARCHE 期 日:令和4年11月2日(水)～3日(木・祝) 花畑広場 来場者:11/2(水) 3,675人(熊本市推計値) 11/3(木・祝)17,840人()</p>	<p>15,022の一部</p> <p>農林水産部 流通アグリビジネス課</p>
3	<p>くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「地産地消サイト運営」</p> <p>地産地消協力店に関する情報や食の名人の料理レシピの掲載のほか、メールマガジンの配信、熊本県の多彩な農産物や料理、生産者や関連するイベントなどの情報を提供し、地域で生産したものを地域で消費する「地産地消」を促進した。</p> <p>【実績】 ・サイトアクセス数:81,004PV</p>	<p>252</p> <p>農林水産部 流通アグリビジネス課</p>

4	<p>くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「地産地消交流会・フォーラム」</p> <p>幅広い世代の県民が熊本で育まれた豊かな農産物の魅力を再認識し、地産地消を進めていくための機運醸成を図るため、公式SNSの周知やトークイベントを行った。</p> <p>【実績】 「くまもと‘食’の発見day-地産地消でつながるSDGs-」トークイベント (1) 令和5年2月19日(日)ゆめタウン光の森 フォロワー741人増 (2) 令和5年2月23日(木)イオン熊本 フォロワー658人増</p>	<p>1,174</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
5	<p>学校給食の充実に向けた地産地消推進事業</p> <p>小中学生等が熊本県の農業や地域の食文化に対する理解を深め、郷土愛を育むことを主な目的とし、学校給食における地場産物活用や農林漁業体験機会を提供する等、市町村が食育及び地産地消の推進に要する経費に対して補助金を交付する。</p> <p>【実績】 ・4市町(山鹿市、山都町、芦北町、湯前町)に交付予定 ※国の経済対策(令和4年度第2次補正予算)を財源として実施するため、令和5年度に実施される事業に対して交付予定。</p>	<p>11,000</p> <p>農林水産部 流通アグリビジネス課 健康福祉部 健康づくり推進課 教育庁 体育保健課</p>
6	<p>卸売市場整備活性化事業のうち「拠点卸売市場活カアップ事業」</p> <p>熊本地方卸売市場関係者の意識の向上を醸成するための研修会の開催や、県産農林水産物の認知度アップと消費拡大を図るための料理教室の開催、HPによる情報発信の取組みを支援した。</p> <p>【実績】 ・調査:2回・料理教室:7回・広報活動:10回</p>	<p>1,000</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
7	<p>農林水産業・地域の振興推進事業のうち「くまもと農業フェア負担金」</p> <p>県民に本県の農畜産物を広くPRするとともに、「食の安全・安心」、「農業の多面的機能」等について理解を促進した。</p> <p>【実績】 ・開催期間:11月12日～13日 ・開催内容:県農業公園でのPR・理解促進活動。 オンラインを活用したプレゼントキャンペーンによるPR</p>	<p>1,600</p> <p>農林水産部</p> <p>農林水産政策課</p>
8	<p>くまもとの米・麦・大豆魅力発信・競争力強化事業のうち「食育・米消費拡大対策」</p> <p>「くまもとのお米の本」を作成し、県内小学校等へ配布した。また、小・中学校及び高校生を対象に県産の米・麦・大豆をテーマとした料理講習会等を開催した。</p> <p>【実績】 ・「くまもとのお米の本」配布:334校(20,500部) ・小・中学生料理講習会:2校開催 ・高校生料理講習会:20校開催</p>	<p>1,633</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>

	ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「食文化継承事業」	1,424
9	<p>各市町村における「くまもとふるさと食の名人」の持続的確保と活用を進めるとともに、「くまもと食文化アドバイザー」を依頼し、より効果的な食育活動を支援した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の名人新規認定者:9名 活動者総数284名 活動回数:555回 対象者数:13,790人(うち学校関係213回、7,056人) 	<p>農林水産部</p> <p>むらづくり課</p>
	ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「くまもとふるさと食の名人派遣事業」	1,244
10	<p>食の名人を高等学校に派遣し、「ふるさと食の技」の伝承や農業への理解を深めるための活動を支援した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣した食の名人数:延117人 派遣先(高校):13校 派遣回数:36回 受講生徒数:777名 	<p>農林水産部</p> <p>むらづくり課</p>
	特用林産物流通促進事業	3,834
11	<p>山村地域の重要な換金作目である特用林産物の生産技術向上、流通・販売促進、普及啓発を目的とした事業を実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物生産状況調査(県内16箇所) ・森の恵みPR活動 等 	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
	くまもと県産材需要拡大総合推進事業のうち「県産材需要拡大消費者対策事業」	729
12	<p>前年に引き続きマスメディア等を使ったPR事業を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材関係事業者が組織する団体が主体的に実施する活動のうち、「熊本日日新聞」等に広告を掲載(計5回)及びSNS広告を実施(6か月間) 	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>

13	<p>くまもとの木と親しむ環境推進事業</p> <p>県産木材で作った木製遊具の貸し出し及び森林の役割や木のよさを伝える紙芝居や絵本の読み聞かせ等、全5事業を実施し、木と親しむ環境の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製遊具貸出等:32団体 ・県内の幼稚園・保育園への机・椅子等の木製品の導入に係る補助:15事業体 ・小学5年生社会科用副読本、中学技術家庭科用副読本の作成 ・木育インストラクター養成講座(初級・中級・上級) ・木育の取組を行う団体等に対する補助:13団体 	<p>24,000</p> <p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
14	<p>稼げる水産業づくり推進事業のうち「魚食普及推進の取組」</p> <p>熊本県魚食普及推進協議会を通じて、「くまもとの魚」を使用した魚料理教室などの魚食普及活動を支援するほか、SNSを活用した「くまもとの魚」料理レシピキャンペーンを行い、一般消費者の家庭での魚の調理や魚食の習慣化、理解醸成を図った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産魚介類を食材とした料理教室 開催回数:23回、参加者:452名 ・県産魚介類を食材としたレシピキャンペーンの実施:応募数245件 	<p>2,364</p> <p>農林水産部</p> <p>水産振興課</p>
15	<p>ふるさとくまもと応援寄附金推進費のうち「感謝の品贈呈」</p> <p>「ふるさとくまもと応援寄附金」に係る寄附者に対して、熊本県からの感謝の意を示し、併せて県産品のPRに資することを目的として、県産品を「感謝の品」として贈呈した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デコポン、トマト等472品目の中から4,860セット贈呈(R5.3.31時点) 	<p>29,140</p> <p>総務部</p> <p>税務課</p>
16	<p>「くまもと手仕事ごよみ」推進事業</p> <p>フェイスブック、インスタグラム及びホームページ上で、四季折々の地域の伝統工芸、伝統食、伝統芸能等に関する情報発信を継続して実施。また、「くまもと手しごと応援！企業」登録制度を通して、手仕事の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロの職人の指導による手仕事ごよみワークショップを開催(和菓子作りR5.1.28) ・くまもと手仕事応援！企業登録社(累計22社) 	<p>2,178</p> <p>企画振興部</p> <p>文化企画・世界遺産推進課</p>

	天草エアライン利用者に対する県産品の提供及びパンフレットの配布	(ゼロ予算)
17	<p>天草エアライン機内にて地域の県産品(加工食品を含む)を提供し、地域産業の振興を推進した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかんちゃん(ジュース):14,646本・うに豆:4,342個 ・ドーナツ棒:5,676個・四郎の初恋:4,628個 	<p>企画振興部</p> <p>交通政策課</p>
	子どもの食育推進事業のうち「地域における食育相談事業」	967
18	<p>子ども自身が健康で豊かな食生活を営む力を身に付けるとともに、保護者が食生活の知識や技術を習得できるよう、地元の食材を使用した栄養相談、講話等を実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施施設数:13箇所 	<p>健康福祉部</p> <p>子ども未来課</p>
	健康食生活・食育推進事業における地産地消推進の取組	4,487
19	<p>健康的な食生活を実践しやすい環境づくりを進めるため、くま食健康マイスター店事業において、「県産品の積極的活用(地産地消)」を取組基本項目の一つとして募集・指定を実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くま食健康マイスター店 指定店舗数120舗 	<p>健康福祉部</p> <p>健康づくり推進課</p>
	「大型店の立地に関するガイドライン」による大型店への協力要請	(ゼロ予算)
20	<p>大規模小売店舗立地法に係る新設及び増床等の変更の届出があった大型店に対し、県の意見を通知する際に、ガイドラインで大型店に求める地域貢献策(県産品の販売促進・需要拡大への協力)への取組みを要請し、特定大型店においては地域貢献計画書の届出により協力姿勢を確認していく。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献計画書提出:対象となる店舗なし ・地域貢献については、令和4年度に県の意見を通知した全店舗(9店舗)に要請した。 	<p>商工労働部</p> <p>商工振興金融課</p>
	プロスポーツによる地域活性化事業のうち「ロアツソ熊本支援県民運動推進事業」	3,000の一部
21	<p>ロアツソ熊本のホームゲーム開催時に新型コロナウイルス感染症対策を徹底のうえ、県内市町村等の物産展を開催した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計4回実施(4/3新潟戦:県(水産物)、8/7栃木戦:荒尾市、10/2秋田戦:山江村、10/8群馬戦:湯前町) 	<p>観光戦略部</p> <p>観光企画課</p>

	「くまもっとグルメ」デジタルプロモーション	67,000の一部
22	<p>熊本の食のブランドをアピールするため、第一弾として「熊本ラーメン」を、第二弾には熊本の旬のフルーツを使った「スイーツ」を題材に、音楽とリズムにこだわり、「思わず食べたくなる」WEB動画制作、広告配信を行った。あわせて動画登場店やけんさむさんおすすめの店舗を掲載したWEB特集ページも公開した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB動画「くまもっとグルメ ラーメン編」は約67万回再生。 ・第二弾のWEB動画「くまもっとグルメ スイーツ編」は約1.7万回再生を記録した。 	<p>観光戦略部</p> <p>観光企画課</p>
	熊本の「食」を活用した誘客の促進	9,800の一部
23	<p>県外における熊本の「食」「県産品」の提供を通じて、認知度向上・販路拡大及び、熊本への誘客に繋がる活動を展開した。</p> <p>【実績】</p> <p>くまもっとうまか応援店 東京28店舗、大阪22店舗、福岡55店舗</p>	<p>観光戦略部</p> <p>観光振興課</p>
	交通事業者、旅行会社等と連携した誘客促進	22,615の一部
24	<p>交通事業者及び旅行会社等と連携し、各種プロモーションにおいて、パンフレットや、SNS等で熊本の「食」を紹介した。</p>	<p>観光戦略部</p> <p>観光振興課</p>
	庁舎ロビーへの県産品展示	(ゼロ予算)
25	<p>県庁本館1階ロビー受付横の展示ケースや地下展示ケースに、コロナ禍により落ち込んだ県産酒消費回復に向けたキャンペーン周知用の展示及び伝統工芸館の協力の元、代表的な工芸品から新たなデザインの工芸品まで多様な作品を展示し魅力をアピールした。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階ロビー展示: 通年 ・地下展示ケース: 5月、8月、10月 県産酒のPR 11月 伝統工芸品のPR 	<p>観光戦略部</p> <p>販路拡大ビジネス課</p>

26	<p>熊本を支える産業人材育成事業</p> <p>農業、工業、商業、水産、家庭、福祉を学ぶ専門高校生が、1、2年生からの専門科目での学びにおいて地域社会や産業界と協働し、地域課題解決等のための商品開発、企画・提案、機器製作、イベントの開催、販売実習等に取り組んだ。</p> <p>商品開発を行う際には、自校生産の農産物や地域特産物を活用する等、地産地消の意識の醸成を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菊池高校:地元企業と協力し、商品開発・販売実習を実施 ・松橋高校:高校生オリジナル道の駅弁当開発と販売実習を実施 ・北稜高校:地元特産物でイチゴバターの共同開発と販売実習実施 ・菊池農業高校:干しタケノコおやき試作と地域で試食会を実施 ・南稜高校:自校生産のブドウを使ったレーズンパンの製造・販売 ・天草拓心高校:漁獲した水産物から商品開発し、販売実習実施 ・水俣高校定時制:地元食材を使用したオリジナル商品開発・販売 	<p>5,313の一部</p> <p>教育庁</p> <p>高校教育課</p>
27	<p>食育推進事業</p> <p>学校給食における「ふるさとくま(熊)さん(産)デー」の取組みや郷土料理の提供、学校給食と関連付けた教育活動を研究する学校給食・食育研究推進校の指定を行い、地場産物活用の促進や県内の自然・食文化・産業についての関心・理解の深化及び望ましい食習慣の定着を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとくまさんデーを毎月19日前後に実施 ・文部科学省の学校給食における地場産物抽出調査では、学校給食県産食材利用率は金額ベースで64.2%であった。 ・学校給食・食育研究推進校を1校指定 嘉島町立嘉島東小学校(学校給食・食育研究推進校指定1年目) 	<p>236の一部</p> <p>教育庁</p> <p>体育保健課</p>

(2) 県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大

県内の物産館、直売所及び量販店等における県内農林水産物等の販売促進活動を支援し、県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大を図る。

番号	事業又は取組名	令和4年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
28	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「県産農林水産物県内消費促進フェアの取組」	25,500
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、需要が減少している農林水産物の消費を拡大するため、地産地消協力店において、一定金額飲食・購入した人を対象に、抽選で県産農林水産物を提供するフェアを実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> フェア実施期間: R4.8.25～R5.1.23 応募件数: 約22,999件 県産品販売額: 約86,400千円 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
29	販促資材等の配布による地産地消協力店支援	567
	<p>地産地消協力店(熊本県で生産された農林水産物を販売する販売店及び県産品を使用する飲食店)に対してPR用ののぼり旗等の販促資材の配付をし、支援を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の地産地消協力店指定した136店舗に対し、のぼり旗、ミニのぼり、タペストリーの配布を行った。 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
30	くまもと県産農産物ネットワーク構築事業	3,578
	<p>県内直売所間における広域のネットワーク構築及び県産農産物等を結ぶ物流ルート運用を支援した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用実績: 直売所16施設、29ルート 運用により39,000千円分の県産農産物の流通があった。 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
31	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「球磨川流域地産地消支援事業」	576
	<p>球磨川流域市町村が実施する地産地消に関する取り組みを支援した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多良木町、津奈木町、五木村、錦町の4町村にて、学校給食への地元産品の利用や店舗等でのフェアの開催 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>

32	<p>県産麦パートナー強化推進事業</p> <p>生産者、製造・販売業者による連携体制を構築し、高品質麦生産に一体となって取り組むとともに、小麦では県産ミナミノカオリを原料とした商品・料理のPR、大麦では新商品開発やもち性大麦の新たな産地化に向けた検討を行い、県産麦の需要拡大を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実需と連携した生産の取組:4地域 ・小麦関連PR(広告、動画、WebサイトでのPR):3回 ・大麦関連展示会への出展:2回 	<p>3,789</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
33	<p>くまもと茶ビジネス確立支援事業</p> <p>広報媒体によるPR及びイベント・キャンペーンの開催を行うとともに、県外実需者への販促活動に取り組み、また、県内小学校にて美味しいお茶の入れ方講座を開催し、若年層への消費喚起など、県産茶の流通促進及び消費の拡大推進を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本格付認証茶「湧雅のこち」CM 4月～7月、10月～12月 ・テレビ番組等での新茶プレゼント ・小学校でのお茶講座 	<p>5,150</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
34	<p>いぐさ産地総合支援事業</p> <p>県内外の各種イベント等で県産畳表の紹介、PRを実施した。また、広報媒体でキャンペーンを開催した。さらに、公共施設等に畳等の設置を行い、県内の消費者に畳の魅力をPRし、需要拡大を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント等でのPR活動 ・学校への畳ベッド等の設置、阿蘇くまもと空港への畳ベンチの設置 	<p>10,251</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
35	<p>「毎日くだもの200グラム運動」の啓発活動支援</p> <p>TV番組のプレゼント企画へ旬の果物を提供し、県内消費者への情報発信を実施した。また、県内幼稚園・保育園等へのみかん・果物の情報提供を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TKU「英太郎のかたらんね」プレゼント企画への果物提供 5回 ・県内幼稚園・保育園等へのみかん・果物の情報提供(100園、園児10,442名) ・尚絅大学の学生、教職員を対象に果物への理解促進活動を行った。 	<p>885</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>

	一般社団法人熊本県野菜振興協会が実施する産地育成事業	2,415
36	<p>低コスト、安全・安心な野菜生産に向けた技術確立を目的とした実証展示ほ場を設置した。また、本県野菜PRを目的とした野菜ソムリエ育成事業による県内生産者のソムリエ資格取得支援を実施。さらに、生産拡大や新規品目導入に必要な項目の経営費を調査した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示ほ設置:5か所・野菜ソムリエ育成:令和4年度資格取得者支援1名 ・経営費調査:3品目 	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	くまもとの花消費拡大推進活動への支援(花き協会補助事業)	1,604
37	<p>小中学校等を対象とした出張フラワーアレンジメント教室、父の日や私たちの記念式典等における花きの贈呈等のイベント活動、いい夫婦の日、バレンタインデーにちなんだ県内テレビ番組のスタジオ装飾、企業等における定期的な花き装飾、職場向け花の定期便を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラワーアレンジメント教室開催:11校 参加者396名 	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産地鶏生産流通対策事業」	1,955
38	<p>試食会やフェアの開催、県HP等を活用した販売情報の提供を行った。また、生産体制強化に係る生産者指導、販売促進検討会を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者指導:2回・定例会:7回 	<p>農林水産部</p> <p>畜産課</p>
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「食肉流通体制強化推進事業」	6,742の一部
39	<p>販促資材の作成・配布、県の広報TV・ラジオ等の媒体を活用した広報活動、HPにおける県産牛肉のPR及び販売店の紹介を実施。</p> <p>また、県産牛肉の認知度向上及び消費拡大を目的としたキャンペーン(2回)や、観光業と連携したキャンペーンを実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費拡大キャンペーン応募総数(2回):17,588通 	<p>農林水産部</p> <p>畜産課</p>
	鳥獣被害防止対策・ジビエ利活用加速化事業のうち「くまもとジビエ普及拡大支援事業」	15,138の一部
40	<p>鳥獣被害防止対策の一環で捕獲したシカ及びイノシシの肉を地域資源として有効活用するため、「くまもとジビエコンソーシアム」を核として「くまもとジビエ」の理解促進と消費拡大を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジビエフェアの開催:62店舗参加 	<p>農林水産部</p> <p>むらづくり課</p>

	くまもとの木を活かす木造住宅等推進事業	59,469の一部
41	<p>木造住宅や公共性の高い民間施設の新築及び増改築を施工する工務店等に県産木材及び県産緑化木を提供することによりその良さを周知啓発し、木材の需要拡大を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産材提供件数:住宅99棟、事業所1棟 	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
	稼げる水産業づくり推進事業のうち「くまもとの魚販売力強化事業」	2,280
42	<p>県産水産物の認知度向上と販売力強化を図るため、量販店や鮮魚販売店において「くまもとの魚」のPRキャンペーンを実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くまもとの魚」で家ごはん！キャンペーン:県内鮮魚店等 46店舗 	<p>農林水産部</p> <p>水産振興課</p>
	職員住宅畳替えに伴う県産いぐさの利用	6,231の一部
43	<p>熊本県職員南熊本住宅の畳表替え(360枚)及び熊本県職員東町(1期)住宅の畳表替え(480枚)について、県産いぐさを使用するよう仕様書に明記し消費拡大を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畳表替え:840枚 	<p>総務部</p> <p>総務厚生課</p>
	水前寺二丁目宿舎畳表替えに伴う県産いぐさの利用	1,092の一部
44	<p>水前寺二丁目宿舎の入退舎等に伴う畳表替えにおいて、県産イ草を使用するように仕様書に記載し、消費拡大を図ることとしていたが、畳表替えの必要がなかったため実績なし。</p>	<p>総務部</p> <p>財産経営課</p>
	熊本県及び五木村「ふるさと五木村づくり計画」のうち「物産振興」及び「林業振興」	(ゼロ予算)
45	<p>「五木村フェア2022 in 阿蘇ミルク牧場」(農産加工品の対面販売、林業イベントの実施等)の開催支援や、県庁地下展示スペースでの展示(林業振興に係るポスター・木工品等)等による広報を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五木村フェア2022 in 阿蘇ミルク牧場(10/1～10/30) ・県庁地下展示スペースでの展示(林業振興:11月) 	<p>企画振興部</p> <p>球磨川流域復興局</p>

	<p>社会福祉施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例に基づく地産地消の推進</p>	(ゼロ予算)
46	<p>社会福祉施設の指導監査の際に地産地消の実施状況について確認し、未実施の施設に対しては、地産地消の取組に努めるよう助言を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設76件に監査を実施 	<p>健康福祉部</p> <p>健康福祉政策課</p>
	<p>県産品販路開拓事業のうち「くまもと物産フェア事業」</p>	900
47	<p>県産品の販路拡大を図るため、商工団体と農林水産団体が連携し、令和4年10月30日～31日の2日間、アミュ広場・花畑広場で開催した。また、特設サイト「くまもと物産フェアオンライン」にて県産品の紹介、販売を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアル催事:参加事業者数 85者、商品数 501、来場者数 73,115人 	<p>観光戦略部</p> <p>販路拡大ビジネス課</p>
	<p>くまもとで乾杯！県産酒推進事業</p>	7,539
48	<p>県産酒の認知度向上及びくまもと県産酒で乾杯条例の周知のため、県産酒の画像データを収集し、WEBサイト等の掲載を通じた情報発信を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産酒画像データ収集及びWEBサイトへの掲載。 	<p>観光戦略部</p> <p>販路拡大ビジネス課</p>
	<p>球磨焼酎リブランディング事業</p>	40,910の一部
49	<p>球磨焼酎の魅力発信と販路拡大を図るため、蔵元ヒストリー事業の実施や熊本市内及び首都圏の飲食店等における球磨焼酎フェア等を開催。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒストリー調査(球磨焼酎全27蔵元) ・バルウォークくまもとの開催(11/1～11/13) ・くまもとモン×大阪うめだジャック(11/1～11/30) 	<p>観光戦略部</p> <p>販路拡大ビジネス課</p>

50	<p>くまもと県産品消費拡大緊急支援事業のうち「県産品の消費拡大」</p> <p>県産品の消費拡大のため、アンテナショップ等における販促キャンペーンを開催。</p> <p>【実績】</p> <p>①熊本県物産館、銀座熊本館におけるポイント20%還元キャンペーン(令和4年11月～令和5年3月15日)</p> <p>②熊本県物産振興協会ECサイト「ふるさとよかもんショップ」における送料 無料・ポイント20%還元キャンペーン(令和4年10月～令和5年2月末)</p>	<p>25,000の一部</p> <p>観光戦略部</p> <p>販路拡大ビジネス課</p>
51	<p>くまもと県産品消費拡大緊急支援事業のうち「県産酒の消費拡大」</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、需要が減少している県産酒の消費を促すため、県内の酒販店において「くまもと県産酒消費拡大緊急キャンペーン」を開催し、県産酒の消費を喚起する。</p> <p>【実績】</p> <p>期 間:令和4年9月17日～令和5年1月24日</p> <p>参加店舗数:約300店舗</p> <p>応募件数:約7万9千件(R3年度:4万8千件)</p> <p>景 品:県産酒6,000本、県産品ギフトセット1,000セット</p>	<p>35,000の一部</p> <p>観光戦略部</p> <p>販路拡大ビジネス課</p>
52	<p>公営住宅維持補修事業のうち「県営住宅畳替え工事」</p> <p>更新時期に至った畳(畳床及び畳表)の取替えにおいて、県産いぐさ畳表を使用した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営東本町団地及び県営江津湖団地(住戸数290戸、3345畳) 	<p>638,754の一部</p> <p>土木部</p> <p>住宅課</p>
53	<p>公営住宅ストック総合改善事業のうち「住戸改善工事」</p> <p>住戸内のバリアフリー化を行う「住戸改善工事」において、段差解消を行う床の一部を県産木材とした。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営武蔵ヶ丘団地25戸、県営上熊本団地28戸、県営八反田団地25戸 	<p>303,195の一部</p> <p>土木部</p> <p>住宅課</p>

54	<p>患者給食材料の購入</p> <p>給食業務委託に際しての仕様書において、一部食材については熊本県産又は熊本県内製造品を使用し、その他の食材についても、可能な限り熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努めるよう規定することにより、引き続き熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努める。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食材料のうち、米、鶏卵については熊本県産品を使用。牛乳、豆腐類、パン類及び醤油・味噌・酒類については、熊本県内製造の食材を使用。 その他の食材についても、可能な限り、熊本県産又は熊本県内製造の食材を使用。 	<p>96,043の一部</p> <p>病院局</p> <p>総務経営課</p>
55	<p>警察施設維持管理事業</p> <p>県産いぐさ畳による宿舍の畳表替えを実施した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 畳表替え:61戸638畳 	<p>6,700の一部</p> <p>警察本部</p> <p>会計課</p>

(3) 経済循環及び地域活性化

農林水産業と商工業、観光産業、学校等多様な産業又は組織との連携等により、県内農林水産物等を活用した加工商品の開発やイベントの開催等を行い、地域経済の活性化を図る。

番号	事業又は取組名	令和4年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
56	6次産業化総合支援強化事業	55,185の一部
	衛生管理向上機器導入支援、商品開発及び商品力向上支援、販路拡大支援等、6次産業化に取り組む生産者の発展段階に応じた支援を行った。 【実績】 ・機器導入:5事業者 ・販路拡大支援:2事業者 ・新商品開発支援:3事業者	農林水産部 流通アグリビジネス課
57	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「地産地消協力店の指定」	1,618
	各関係機関を通じたチラシの配布や、HPなども活用して応募を推進するとともに、各地域振興局等関係機関の協力も得て未指定店舗への要請、勧誘を行った。 【実績】 ・R4協力店指定数:136店舗(指定総数1,002店舗(R5.3.31現在))	農林水産部 流通アグリビジネス課
58	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「SDGsの推進」	3,022
	地産地消とSDGsの関連性を広くPRすることにより、県民が県産農林水産物を選択し、消費する契機を図ることを目的に、熊本県内の事業者等が行うSDGsの達成に向けた地産地消推進の新規取組みの支援を行った。 【実績】 ・地産地消に関わるSDGs取組み支援(3件)	農林水産部 流通アグリビジネス課
59	熊本県木材利用促進本部会議	(ゼロ予算)
	県が行う公共施設・公共工事等において、可能な限り県産材の利用推進を図り、関連する取組を市町村や関係機関、ひいては県民まで波及を図るため、以下の事業に取り組んだ。 (1)公共施設における木材利用の推進 社会福祉施設、公営住宅、学校施設、庁舎等の木造化・木質化に向けた普及 (2)公共工事における木材利用の推進 仮設防護柵、型枠、工事看板、木製構造物等で利用 (3)備品や消耗品等における木材利用の推進 木になる紙の使用 【実績】 ・推進本部会議:8月開催 ・令和3年度における対象施設の木造率:79%(うち県施設については100%)	農林水産部 林業振興課

	くまもとの木の家づくり推進事業	3,385
60	<p>地域住宅生産者グループ等が主体となり、これから木造住宅やリフォーム等を実施する県民に、県産木材を選択してもらうための各種取組みに対して支援を行うことにより、県産木材の利活用の最大化を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援団体(6団体) 	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
	資産の有効活用(県有施設における自動販売機設置事業者の選定)	(ゼロ予算)
61	<p>県庁プロムナードに設置する自動販売機について、販売する商品の6割以上を地産地消商品とする条件を付して公募した自動販売機を設置した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の設置台数 16台(うち地産地消条件付き2台) 	<p>総務部</p> <p>財産経営課</p>
	地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「交流の促進の取組」	192,787の一部
62	<p>市町村や地域団体等の自主的な地域づくりを後押しするため、地域の資源や特性を磨き上げ、それらを生かして県内外から人を呼び込み、交流人口の拡大を促進する取組みへの支援を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助:49件 102,973千円 	<p>企画振興部</p> <p>地域振興課</p>
	地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「起業の誘発の取組」	192,787の一部
63	<p>地域の課題を解決するため、ビジネスの手法を活用して行うコミュニティ・ビジネス等の開始又は規模拡大等、起業に向けた取組みへの支援を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助:4件 7,365千円 	<p>企画振興部</p> <p>地域振興課</p>
	水俣・芦北地域産業振興と雇用創出事業	51,255の一部
64	<p>地域事業者の展示商談会等の出展支援、環境配慮型農業による農産品の販売支援、新商品の開発支援、和紅茶のブランディング、水産資源のブランド化及びマガキ養殖の支援、地元林産材の活用推進等を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示商談会等の出展支援 ・アボカドのブランディング及び販路開拓支援 ・地元食材等を活用した新商品の開発支援(6品) ・和紅茶の販路開拓支援 ・水産資源(マガキなど)のブランディング及び販路開拓支援 ・地元林産材の利活用推進 等 	<p>企画振興部</p> <p>地域振興課</p>

	熊本県及び五木村「ふるさと五木村づくり計画」のうち「物産振興」「林業振興」(再掲)	(ゼロ予算)
65	「五木村フェア2022 in 阿蘇ミルク牧場」(農産加工品の対面販売、林業イベントの実施等)の開催支援や、県庁地下展示スペースでの展示(林業振興に係るポスター・木工品等)等による広報を行った。 【実績】 ・五木村フェア2022 in 阿蘇ミルク牧場(10/1～10/30) ・県庁地下展示スペースでの展示(林業振興:11月)	企画振興部 球磨川流域復興局
	くまもとオープンイノベーション推進事業のうち「アドバイザー配置事業」	3,484の一部
66	企業や関係団体の要請に基づき、食と健康に係る専門アドバイザーによる個別支援を実施した。 【実績】 ・12企業・個人団体に対して、延べ活動日数40日	商工労働部 産業支援課
	研修指導事業(食品加工室)	410
67	県産農産物を活用した売れるものづくりを支援するため、商品の企画力、加工技術、品質や衛生管理技術の向上に向けた研修指導等を実施した。 【実績】 ・食品加工技術研修会:2回 ・技術相談及び指導:136回	商工労働部 産業技術センター
	農産加工研究開発事業(特別支援事業)	2,220
68	県特産和牛である褐毛和種のおいしさを客観的に評価するため、成分特性、味覚及び食感などを数値化し、褐毛和種の魅力向上に向けた研究を行った。また、傷みやすく消費期限の短いカットフルーツに対して殺菌法や保存法を検討し、消費期限延長技術に向けた研究を行った。 【実績】 ・褐毛和種のおいしさ評価のため、加熱による成分や物性の変化をHPLC、味認識装置等の機器分析により数値化し、黒毛和種と比較した褐毛和種の優位点を明らかにした。 ・カットフルーツ(梨)について殺菌法や保存法を検討し、1週間程度の消費期限が期待される成果を得た。	商工労働部 産業技術センター
	熊本県食料産業クラスター協議会	(ゼロ予算)
69	熊本県食料産業クラスター協議会が開催する食農連携促進企画運営会議にアドバイザーとして参加し、支援した。 【実績】 ・支援回数:3回	商工労働部 産業技術センター

	農商工連携推進事業	(ゼロ予算)
70	農商工連携推進のため随時関係機関との情報共有等を行った。また、熊本県農商工連携推進協議会において、農商工連携の活性化について各機関が連携して事業者への支援を行うため、農商工連携調整部会を開催し、支援状況の情報交換を行った。	観光戦略部 販路拡大ビジネス課
	マーケット拡大支援事業のうち「新商品開発等支援事業」	2,500
71	産業技術センター等の支援を受け、農商工連携により新商品を開発し、テストマーケティングを行う事業者及び県外への展示会等へ出展する事業者を支援した。 【実績】 ・補助:7件	観光戦略部 販路拡大ビジネス課
	物産振興事業	2,967
72	熊本県物産館にて、県産品のPRやマーケティングの場を提供するとともに、新規商品を県内外にアピールし、県産品の販売を推進するため「優良新商品表彰事業」を実施。 【実績】 ・応募総数18点(民工芸・日用品部門2点、食品部門16点)	観光戦略部 販路拡大ビジネス課

(4) 農林水産業が果たす多面的機能の再認識

農林水産業及び食に関する体験イベント等を通じて、都市住民と農山漁村住民、生産者と消費者の交流活動を促進し、農林水産業が果たしている多面的機能(国土や自然環境の保全、水源の涵養、癒しの場等)への再認識を図る。

番号	事業又は取組名	令和4年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
73	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「くまもと食・農ネットワーク活動への支援」	366
	<p>様々な立場の会員が「地産地消」の取組みを通して、消費者と生産者、都市と農村の共生関係づくりを進めた。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消サイトへの記事掲載及びメールマガジンの発行 ・地産地消推進イベントへの参加(2回) 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
74	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「県民参加型イベントの実施」	399
	<p>消費者が農産物の生産現場を「見る」こと、県産食材を「食す」ことの経験を通して地産地消について考え、改めて魅力を実感することで地産地消を意識した購買に繋げることを目的に県民参加型のイベントを行った。</p> <p>【実績】</p> <p>県民参加型イベント開催(11月)</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
75	地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「県民理解の促進・消費拡大推進事業」	13,875の一部
	<p>地下水と土を育む農業の理解促進のため、子どもの現地勉強会や消費者向けの弁当の企画販売、店舗販売促進キャンペーン等を行った。また、小学校4年生用に副読本を作成し県内の小学校等へ配付するとともに、副読本と併せて活用できる学習教材を公開し、効果的な学習の機会を提供した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗キャンペーン参加者:1,518人 ・副読本配付数:18,235部 	<p>農林水産部</p> <p>農業技術課</p>
76	地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「くまもとグリーン農業推進事業」	14,413
	<p>くまもとグリーン農業について、専用のホームページやFacebookを活用し情報発信を行うなど、制度の理解浸透を図った。</p> <p>【実績】宣言者の増加数(R4.3～R5.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産宣言:314人 ・応援宣言:413人 	<p>農林水産部</p> <p>農業技術課</p>

	都市農村交流対策事業	5,000
77	都市農村交流(グリーン・ツーリズム)をコーディネートする組織と人材の育成確保、受け入れ体制の整備、情報発信の拡大及び農業と観光、教育、福祉、環境等他分野との融合連携に向けた取組みを支援し、交流・滞在人口の増加を図った。 【実績】 ・補助:2市町	農林水産部 むらづくり課
	未来につなぐふるさと応援事業のうち「農〇連携事業」	5608の一部
78	子どもたち等を対象とした農業・農地及び土地改良施設の多面的機能に対する理解向上に役立つ交流活動を支援した。 【実績】 ・補助:9市町16団体	農林水産部 むらづくり課
	未来につなぐふるさと応援事業のうち「棚田PR事業」	3,775
79	棚田における体験型のツアー等の地域住民活動を支援し、都市部の参加者と地元住民の交流を通じて棚田のすばらしさと現状を伝え、県民の棚田保全への理解を深めた。 【実績】 ・補助:4市町村6団体	農林水産部 むらづくり課
	地域の縁がわづくり推進・支援事業	3,110の一部
80	地域の縁がわ取組団体を集めて、地元農産物を活用した子ども・地域コミュニティ食堂の取組みなどの情報交換会を行った。また、これら取組み等を紹介する普及啓発用DVDの貸出を行った。 【実績】 ・会議形式での開催2回(参加者数:計159人) ・DVD貸出9件	健康福祉部 健康福祉政策課
	地域福祉総合支援事業	14,835の一部
81	地域の縁がわ等の整備や、地域の縁がわ等における地元の農林水産物等を活かした配食・会食サービス等に対して助成を行った。 【実績】 ・補助:16団体、10,753千円	健康福祉部 健康福祉政策課

(5) 条例の周知、意識啓発等、条例の直接的な推進に係る取組

番号	事業又は取組名	令和4年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
82	<p>くまもと地産地消推進庁内連絡会議</p> <p>「くまもと地産地消推進庁内連絡会議作業部会」において地産地消推進関係施策について意見交換を実施するとともに、「くまもと地産地消推進庁内連絡会議」にて県議会報告内容について検討を行った。 また、令和4年度の計画及び令和3年度の取組実績について、県ホームページ等で公表を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業部会での意見交換(4月) ・連絡会議において県議会報告内容を検討(5月) ・県HP等での公表(9月) 	<p>(ゼロ予算)</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課 (及び連絡会議構成課)</p>
83	<p>様々な広報媒体を活用した県民への条例周知</p> <p>県庁ホームページや県地産地消サイトに条例や地産地消に関する情報を掲載、発信するとともに、各種の広報媒体を活用して県民への条例の周知・浸透と地産地消の意識醸成に取り組んだ。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁ホームページ等への情報掲載:随時 	<p>(ゼロ予算)</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
84	<p>イベント等での条例の周知及び情報発信</p> <p>地産地消の条例周知と推進を目的とした展示を各種イベント等を実施し、来場者に対して広く情報発信を行った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまもと農業フェアでの実施(11月) 	<p>(ゼロ予算)</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>